



第48回全国育樹祭 基本方針



目 次

I	開催方針	1
1	全国育樹祭の目的	
2	開催理念	
3	大会テーマ	
4	シンボルマーク	
5	ポスター原画	
6	本県における全国植樹祭の開催状況	
II	開催概要	4
1	全国育樹祭行事	
2	併催行事	
3	記念行事	
III	運営方針	9
1	運営体制	
2	輸送・宿泊等	
3	式典参加者	
4	その他	
IV	広報・協賛	11
1	広報・PR	
2	記録	
3	協賛	
V	開催準備スケジュール	12

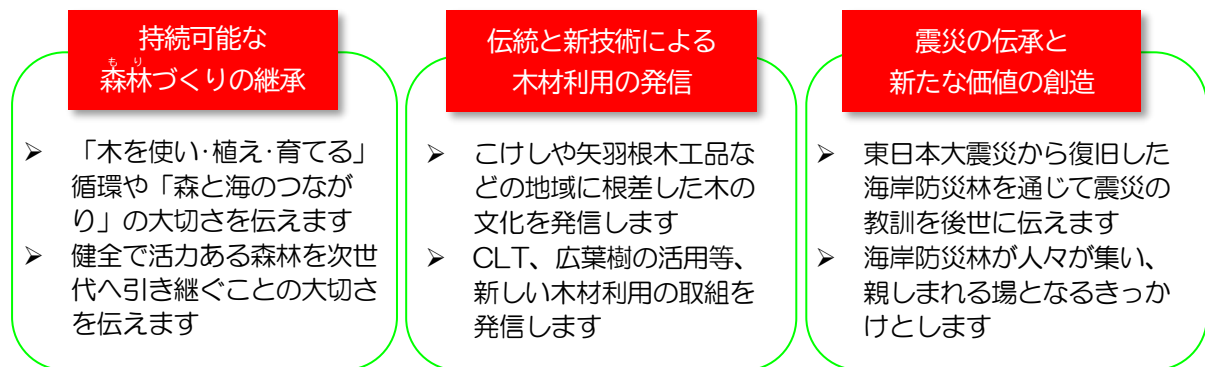
I 開催方針

1 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、昭和52年から、全国植樹祭を開催したことがある都道府県において、毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です。

この祭典では、全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるシンボリックの行事に加え、参加者による育樹活動、皇族殿下によるおことばや各種表彰等による式典行事等を通じ、健全で活力ある森林を育て、次世代へ引き継ぐことの大切さを伝えていきます。

2 開催理念



本県は、東北地方の南東部に位置し、東部は太平洋に面し、西部は奥羽山脈、北東部には北上山地、南部には阿武隈山地が連なり、中央部の仙台平野には北上川、阿武隈川と雄大な河川が流れ、森から川、そして海へと繋がる豊かな自然に恵まれています。

県土面積の6割を占める森林は、県土の保全、地球温暖化の防止、林産物の供給等を行うほか、森林が生み出す良質な水資源は、県民生活の基盤を支え、本県の豊かな漁場を育てており、森林の持つ多面的な機能はSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けても大きな役割を果たしています。

この大切な森林を未来に引き継いでいくために、本県では平成30年3月にみやぎ森と緑の県民条例を制定しました。この条例に基づき「木を使い・植え・育てる」循環の定着などを目指して、各種施策を推進しています。

本県の木材利用においては、宮城伝統こけしや矢羽根木工品など、地域に根差した木工品や木の文化が受け継がれているほか、製紙、合板、製材などの大型木材加工工場が立地する全国有数の木材需要拠点を有するなど、時代の流れに沿って多種多様な木製品等を供給してきました。この流れを絶やすことなく、新たな技術やアイデアで木材利用を推進していくことは、森林の循環利用を進める上でも重要であり、CLT[※]やFSC認証材[※]、広葉樹の活用など、新たな木材利用の取組が進められています。

平成23年3月に発災した東日本大震災の津波によって、仙台藩から続く本県の海岸防災林は壊滅的な被害を受けましたが、県内外の多くの皆様から御支援・御協力をいただき、震災から10年の歳月を経て令和3年4月に植栽が完了しました。今後も、海岸防災林の保育作業体験などを通じ、震災の教訓伝承に取り組むとともに、地域住民や民間企業、観光施設と連携しながら、地域に愛される防災林に育てていく必要があります。

その後、令和3年10月には、第40回全国豊かな海づくり大会を開催し、豊かな海を育む山・森・河川のつながりや環境保全の大切さを全国に発信したほか、令和4年4月には、林業関係団体と行政で構成される、みやぎ森林・林業未来創造機構[※]により、みやぎ森林・林業未来創造カレッジ[※]が開校され、官民一丸となって林業の担い手確保・育成に取り組むなど、循環型の森林・林業・木材産業の定着に向けた取組が進められています。

こうした中で、本県において全国育樹祭を開催することは、大会の主旨である「健全で活力ある森林を次世代へ引き継ぐことの大切さ」に加え、持続可能な森林づくりや森と海のつながりなどを国民・県民の皆様にも再認識していただく絶好の機会であります。また、宮城伝統こけしなどの地域に根差した木の文化、CLTや広葉樹の活用などの新たな取組や人材の育成、震災から復旧した海岸防災林、さらには豊かな農林水産物等、本県の取組や魅力を全国へ発信するとともに、宮城県らしさ溢れる行事として「第48回全国育樹祭」を開催いたします。

3 大会テーマ

第48回全国育樹祭の開催理念をあらわす「大会テーマ」を公募し、令和5年度中に選定します。

4 シンボルマーク

第48回全国育樹祭の開催理念や本県開催であることを表現し、併せて開催機運を高めるような「シンボルマーク」を公募し、令和5年度中に選定します。

5 ポスター原画

第48回全国育樹祭のイメージを表現する「ポスター原画」について、県内の小中高校生等から作品を募り、令和5年度中に選定します。

※ 用語の解説

【CLT】

直交集成板（Cross-Laminated-Timber）。一定の寸法に加工されたひき板（ラミナ）を繊維方向が直交するように積層接着した厚みのある大きな板で、建築物の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されている。

【FSC認証材】

国際的な認証機関である森林管理協議会（Forest Stewardship Council）により、森林経営の持続性や環境保全への配慮など一定の基準を満たすと認証された木材。

【みやぎ森林・林業未来創造機構】

県、市町村、森林組合、民間企業、NPO法人、大学などから構成され、林業の担い手確保や技術力向上のための研修等の開催や、待遇改善、就業機会の充実等に向けた取組を行う組織。

【みやぎ森林・林業未来創造カレッジ】

みやぎ森林・林業未来創造機構会員の協力のもと、県、関係団体が連携し、林業を志望する若者や、技術・技能の向上を目指す就業者等を対象に、森林・林業の基礎から就業後のキャリアアップまでの体系的な研修を実施する人材育成の交流拠点。

6 本県における全国植樹祭の開催状況

本県では、昭和30年に「第6回全国植樹祭」及び平成9年に「第48回全国植樹祭」を開催しています。

(1) 第6回全国植樹祭(昭和30年)

昭和30年4月6日に大衡村平林地区において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「林種転換拡大造林」をテーマとして、アカマツのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。現在は、植樹祭を開催した松林(通称、御成山)と隣接する森林が「昭和万葉の森」として整備され、県民の憩いの場となっています。



第6回全国植樹祭の様子



御手植えのアカマツ

(2) 第48回全国植樹祭(平成9年)

平成9年5月18日に白石市(国立花山青少年自然の家南蔵王野営場)において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「森づくり 大地に託す 夢・未来」をテーマとして、ブナやオオヤマザクラのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。当時、広大な原野であった植樹祭会場は、現在は豊かな森林へと姿を変え、「未来の森」として引き継がれています。



第48回全国植樹祭の様子



御手植えのブナとオオヤマザクラ

Ⅱ 開催概要

1 全国育樹祭行事

(1) お手入れ行事

「継続して森を守り育てていくことの大切さ」を象徴する行事として、平成9年の「第48回全国植樹祭」で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木の皇族殿下によるお手入れを行います。

なお、荒天の場合は、お手入れ行事は中止します。

イ 開催日

令和7年秋季（式典行事の前日）

※ 開催日の決定・公表は令和7年1月頃を予定

ロ 会場

国立花山青少年自然の家南蔵王野営場（第48回全国植樹祭開催地）：白石市

ハ 参加人数

約300人（内招待者200名、出演者・スタッフ等100名）

ニ 会場整備・会場設営

① 会場整備

会場となる国立花山青少年自然の家南蔵王野営場において、円滑な運営に必要な整備を行います。

② 会場設営

本県で開催された第6回全国植樹祭及び第48回全国植樹祭の説明パネル、参加者席、テント等の仮設物を設置します。仮設物の製作にあたっては、県産材を積極的に活用し、再利用可能な形状を工夫します。

ホ お手入れ行事の概要

① パネル展示等御覧

宮城県知事より皇族殿下に第6回全国植樹祭及び第48回全国植樹祭の様子並びにお手植え樹木の生育状況を御説明

② お手入れ

皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木への枝打ち等のお手入れ

③ 参加者による記念育樹

お手入れ行事参加者による施肥等の記念育樹を実施



第45回全国育樹祭のお手入れ行事の様子（令和4年：大分県）

(2) 式典行事

県内外から多くの参加者をお招きする第48回全国育樹祭の中心的行事として、皇族殿下のおことばを始め、緑化功労者の表彰や緑の少年団の活動発表、大会宣言等を行います。

イ 開催日

令和7年秋季

※ 開催日の決定・公表は令和7年1月頃を予定

ロ 会場

セキスイハイムスーパーアリーナ（宮城県総合運動公園総合体育館）：利府町

※ 屋内施設であり荒天時の式典会場は別に設けない。

ハ 参加人数

約5,000人（内招待者3,500名、出演者・スタッフ等1,500名）

ニ 会場設営

円滑な運営に必要な仮設物の設営を行います。会場の設営に当たっては、県産材を積極的に活用し、再利用可能な形状を工夫します。

ホ 式典演出

第48回全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマ（令和5年度決定予定）を象徴的に表現し、かつ、本県の特徴を活かした式典とします。基本構成は、プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

① プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者に対して、歓迎の意を込めたアトラクションを企画、実施します。

② 式典

皇族殿下のおことばや緑化功労者の表彰などを行うとともに、屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高めたメインアトラクションを企画し、宮城県らしさの溢れる式典を実施します。

③ エピローグ

式典に参加いただいた方への感謝の意を込め、式典行事のフィナーレを飾るに相応しいアトラクションを企画、実施します。



セキスイハイムスーパーアリーナ
(宮城県総合運動公園総合体育館)



第45回全国育樹祭の式典行事の様子
(令和4年：大分県)

(3) 懇談会

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者や緑化功労者等を招待して懇談会を開催します。

- イ 開催日
式典行事の前日
- 会場
未定
- ハ 参加人数
約300人



緑化等功労者との交流会
(令和4年：大分県)

2 併催行事

(1) 育林交流集会

林業関係者はもとより、次世代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、森林・林業に関心を持つ人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに基調講演やパネルディスカッションなどを行います。

- イ 開催日
式典行事の前日
- 会場
未定
- ハ 参加人数
約300人
- ニ 行事内容
基調講演、
パネルディスカッション 等



育林交流集会
(令和4年：大分県)

(2) 全国緑の少年団活動発表大会

県内及び全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、日ごろの活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- イ 開催日
式典行事の前日
- 会場
未定
- ハ 参加人数
約300人
- ニ 行事内容
県内外の緑の少年団による活動
発表、各種表彰、交流集会 等



全国緑の少年団活動発表大会
(令和4年：大分県)

3 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

林業関係者はもとより、将来の森林づくりの担い手である高校生等や一般参加者などを対象として、全国の林業機械や環境機械メーカー等による最新機械の展示実演などを行います。

- イ 開催日
式典行事の当日及び翌日等
(関係者と調整し、決定する)
- 会場
未定
- ハ 参加人数
約10,000人
- ニ 行事内容
高性能林業機械等の展示実演 等



森林・林業・環境機械展示実演会
(令和4年：大分県)

(2) 国民参加の森林づくりシンポジウム（1年前プレイベント）

第48回全国育樹祭の1年前記念行事として、森林づくりへの参加の動機付けとなる講演等を行います。

- イ 開催日
令和6年秋季
- 会場
未定
- ハ 参加人数
約300人
- ニ 行事内容
基調講演
パネルディスカッション 等



国民参加の森林づくりシンポジウム
(令和4年：茨城県)

(3) その他の記念行事

第48回全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや県産材利用を進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催します。

イ 育樹等行事

第48回全国育樹祭の開催を通して、育樹の大切さを共有し、森林づくりへの関心・理解を一層高める機会とするため、県民による全国植樹祭会場や海岸防災林等における育樹活動を県内各地で開催するほか、県産材利用の意欲を高めるため、木材を身近に感じることができる体験型イベントなどを開催します。

□ 市町村・関係団体等との連携

県が実施するイベントのほか、市町村や関係団体等が実施する関連イベント等を第48回全国育樹祭の記念行事と位置付け、第48回全国育樹祭の開催機運醸成のための取組を進めます。

【記念行事の開催イメージ】



海岸防災林保育活動



木育体験活動

Ⅲ 運営方針

1 運営体制

(1) 実行委員会の設置

第48回全国育樹祭の開催に向けた準備・調整を円滑に進めるため、令和5年度に、知事を会長とし、県や森林・林業関係団体、経済商工関係団体等を委員とした「第48回全国育樹祭宮城県実行委員会」を設置します。実行委員会では、育樹祭の全体計画である「基本計画」、詳細な大会運営の計画である「実施計画」の策定等を行います。

(2) 実施本部の設置

第48回全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するための実行組織として、令和7年度に知事を本部長とした「第48回全国育樹祭宮城県実施本部」を設置します。

(3) 緊急対応

荒天時の実施判断や非常事態に緊急に対応するための体制を整備します。

2 輸送・宿泊等

(1) 輸送

第48回全国育樹祭の期間中、借上車両（大型バス等）等により、会場や宿泊施設等への確実かつ円滑な輸送を行います。

(2) 駐車場

参加者の円滑な輸送を行うため、開催市町村や施設管理者等との連携のもと、式典会場及び各会場周辺に大型バス等の駐車場を確保します。

(3) 宿泊

主に県外からの参加者を宿泊対象者として、必要な宿泊施設を確保します。

3 式典参加者

(1) 式典参加者の選定方針

森林・林業・木材産業関係者をはじめ、次世代を担う青少年やボランティア団体等のほか、一般公募による参加者など、各界各層の幅広い参加を求めます。

(2) 式典参加者の区分・人数・内訳

式典の参加者は、各都道府県知事の推薦等による中央・県外参加者、県内各市町村長の推薦等による県内参加者及び出演者・運営スタッフ等とします。

区分	人数	内訳
中央・県外参加者	約1,500人	・宮城県知事と公益社団法人国土緑化推進機構理事長との協議による者 ・各都道府県知事の推薦による者
県内参加者	約2,000人	・実行委員会会長の選考による者 ・県内各市町村長の推薦による者 ・一般公募
出演者・運営スタッフ等	約1,500人	・出演団体（アトラクション、緑の少年団等） ・式典音楽隊（吹奏楽隊、合唱隊） ・実施本部長
合計	約5,000人	

4 その他

(1) 警衛・警護

県内での移動や、お手入れ会場、式典会場等での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、宮城県警察及び関係機関等との緊密な連携のもと、警衛・警護について万全を期します。

(2) 救護・衛生

お手入れ会場、式典会場等において、傷病等の発生に備えるため、医療機関等との連携のもと、傷病者の救護体制を整備します。また、新型コロナウイルス等の感染症防止対策を徹底するほか、飲食等による事故防止のため、保健所等との連携のもと、環境衛生対策に万全を期します。

(3) 消防・防災

消防等の関係機関との緊密な連携のもと、万一の火災や地震等の自然災害などの緊急事態に備えます。

(4) 環境整備

お手入れ会場や式典会場等において、参加者が快適に参加できる環境を整えるため、総合案内所や湯茶接待所などを設置します。

(5) 特産品等展示・販売

式典会場の隣接地等において、本県の特産品や木製品等の展示・販売などを行い、本県のPRに取り組みます。

(6) 記念品等

第48回全国育樹祭への参加を記念し、本県らしい記念品を贈呈します。また、会場で使用する物品のほか、本県の取組、名所等を紹介するパンフレットなどを配布します。



参加記念品及び大会パンフレット等（令和4年：大分県）

IV 広報・協賛

1 広報・PR

第48回全国育樹祭の開催理念や開催意義について、広く普及・浸透を図り、森林がもたらす恩恵や木の良さを多くの県民に発信するとともに、豊かな森林が私たちの生活になくてはならない大切なもの、木を使うという意識が根付くよう広報活動を実施します。

(1) 各種イベント等と連携した普及啓発

県内各地で開催される森林・林業・木材産業関連イベントに加え、環境関連行事や記念行事等と連携しながら、県民に向けて、事前の積極的な情報発信、参加・参画への呼びかけを行います。

(2) 広報媒体による普及啓発

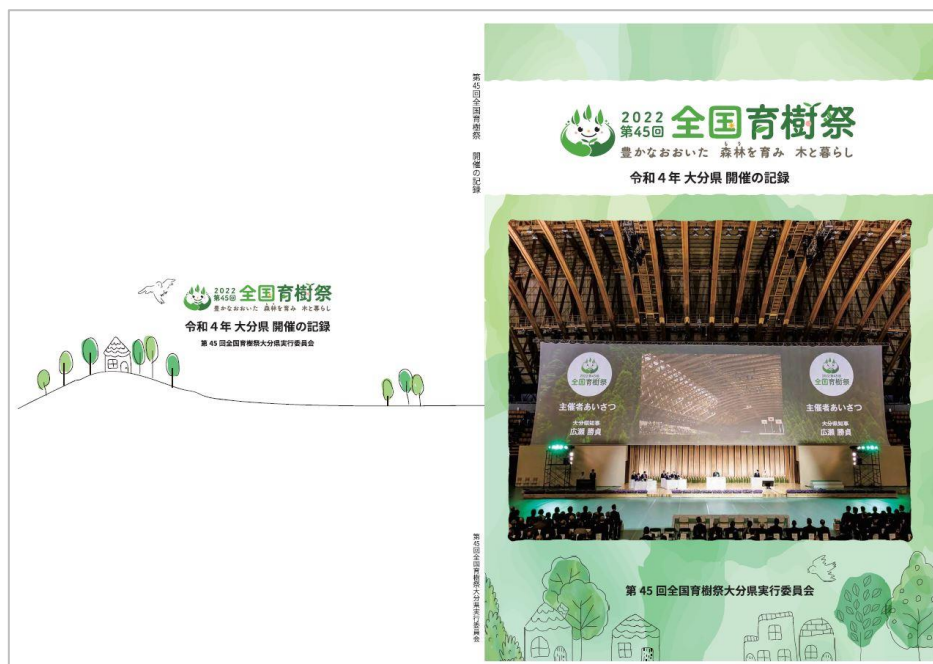
広報誌、新聞、テレビ、SNSなどの多様な広報媒体を活用した広報活動を実施するほか、第48回全国育樹祭のホームページを開設し、広報活動に取り組みます。

2 記録

第48回全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌や記録映像等を制作します。

3 協賛

第48回全国育樹祭の開催方針に賛同する企業や団体などを対象に、実行委員会に対する物品・役務・資金の提供、広報・PRへの協力等の協賛を検討し募集します。



記録誌（令和4年：大分県）

V 開催準備スケジュール

次のとおり、開催に向けた準備を進めていきます

<開催準備スケジュール>

年 度	準 備 内 容
令和5年度	<ul style="list-style-type: none">● 第48回全国育樹祭宮城県実行委員会設置● 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画決定● 基本計画策定
令和6年度	<ul style="list-style-type: none">● プレイベント(国民参加の森林づくりシンポジウム)の開催● 開催日程の決定・公表● 実施計画策定
令和7年度	<ul style="list-style-type: none">● 第48回全国育樹祭宮城県実施本部設置● リハーサル等の開催準備● 第48回全国育樹祭開催

第48回全国育樹祭基本方針

令和5年6月発行

編集・発行 宮城県水産林政部全国育樹祭推進室

仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話：022-211-2473